

クリスマスの話  
アンカ・マーティン  
Friendship International 2020

ルカ第2章 10節-12節

10御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。11今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。12あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなた方のためのしるしです。」

**赤ちゃん誕生のお知らせ：あなたの国では、どのように伝えますか？**

- ・私の母国ルーマニアでは、ひたすら家族に電話します。
- ・アメリカでは、赤ちゃん誕生のカードに赤ちゃんの写真（サイズ付き）を付けて、家族や親戚に かわいいメンバーが新しく加わったことを伝えます。最近では、Facebook での報告が増えています。
- ・中国では、生後一か月か、生後 100 日の節目に、家族や友達が母親と赤ちゃんに会いに来て、食事をし、一緒にお祝いするパーティーが開かれます。
- ・イエスが生まれたとき、神様は最も生き生きとした輝かしい方法でその誕生を発表されました。他には類を見ない方法です。イエスが生まれた夜、天使たちが輝く光の中に現れ、おおきな喜びの歌を突然高らかに歌いだしたのです。見ていたのは羊の番をしていた羊飼いたちでした。空には、キラキラと光り輝く星が現れ、イエスが生まれた場所を探して旅をしていた東方の博士たちを、まっすぐ導きました。このように、天国、天、そして地上でイエスの誕生が祝われたのです。

**特別な目的をもつ、日常的な出来事**

イエスがこの世に赤ちゃんとして実際に誕生されたことは、聖書によると、「すべての人々に喜びをもたらす」ためでした。母親がかけがえのない赤ちゃんを産むとき、我が子を一目みただけで、格別な喜びがもたらされることは疑いようのないことです。そして自分の赤ちゃんのかわいさに心がいっぱいになり、皆がこの子を見たら、おなじ気持ちになるでしょうに!! と思います。（その赤ちゃんが泣いたり、おむつ替えが必要になるまでは (^-^))

しかし、イエスの誕生は、すべての人々にとって特別な喜びであり、そこが違うのです。男性だけのためでもなければ女性だけのためでもない。一つの文化の為だけでなく、すべての文化にとって。一時のことでなく、すべての時代において。万物にとって。この世界のすべての人が、イエスの誕生により、ただの喜びではない、格別な喜びを得られるよう招かれています。すべての民族にとってもない影響があるのです。このことは普通の出産、誕生以上の意味をもっていますが、しかし同時に、この世の中での出産、誕生との共通点もたくさんあります。

(1) 格別な喜びをもたらすことができるよう、イエスの誕生は特別でなくてはならない。

(2) その一方で、人々がこの素晴らしい喜びを受け取ることができるよう、イエスの誕生は人々にとって馴染みのある、日常的なことでなければならない。

それでは、どうしてイエスの誕生がそんなに特別なのでしょうか？そしてなぜイエスの誕生がすべての人々に開かれているのでしょうか？

## 1. イエスは、他の何者とも違う

### a) イエスの御名

・イエスという名前は、多くの人にとって大きな意味のある名前であり、イエスの誕生を聞いたすべての人にとって素晴らしい知らせとなりました。私たちは名前が意味を持つ文化で育ちました。子供の名づけを大切にします。生まれた後でさえ、じっくり時間をかけ、その赤ちゃんに適した名前を選ぶ文化もあります。私の場合も夫とともに名づけ本を調べ、すべての子どもたちのために、それぞれ意味のある名前を探しました。長女はクラリサ・ホープといますが、「輝く希望」という意味です。真ん中の娘の名前はジュリアナ・イブで「はつらつとした人生」、末の娘はアネッサ・マリアで「純粹、聖なる最愛の人」、そして息子のレビは、「結びあっている、英雄」という意味があります。

・天使がイエスという名前を羊飼いに知らせたとき、それとは別の名前、すなわち地上でのイエスの使命を具体的に表す3つの名前もあげました。救世主、キリスト、主です。イエスは目的があって生まれてきました。中東で暮らす家族に愛されて育てられること以上に、彼の「まさしく」父である神様から賜った使命があったのです。

i. 救世主とは、「救ってくれる方」です。彼の名前であるイエスは、「神様が救う」という意味です。

ii. キリストとは、「油を注がれたもの(王に対して行う儀式)」「選ばれたもの」「約束された王」という意味です。

iii. 主とは、「主人」「持ち主」という意味です。

・男の子の赤ん坊、イエスは特別な環境のもとに生まれ、そして地上での特別な使命が与えられていました。御名はまた、神聖 (主)、権威 (キリスト)、彼ならではの人生に与えられた使命 (救世主) という意味をも示しています。

⇒ 神聖 (主) : イエスは女性から生まれましたが、実際は人間の息子ではなく、神様の子でした。聖霊による奇跡を通して、処女であったマリアは身ごもりました。

⇒ 権威 (キリスト) : イエスは神様が送られた方であり、神様の権威と御力を備えていました。地上で成長していきながらもなお、神聖で完璧でありました。

⇒ 使命 (救世主) : そして最後に、御名が示しているように、彼の誕生には成し遂げる使命がありました。目的や役割です。

## b) 「救世主」という名前：

・ なぜ、「救世主」という名前なのか？ まさにこの名のように、イエスには救ってもらうべき何か、そして実際の救いの行為があるのです。救世主とは、人々を危険から救う人です。それは、力強く、尊敬すべき、勇敢な名前です。羊飼いや、マリヤにとってさえも、小さい手足で布にくるまれた小さい赤ちゃんに、この勇敢さと力強さを見ることは難しかったに違いないです。

### ・ 世界に現れる危険とは何だったのでしょうか？

⇒ 神様が人間を創造されたとき、人間は神様と交わりをもつように造られました。人間は神様とともに、平和に調和を保ち生きました。

⇒ でもある日人間は、神から小賢しく人間を引き離そうとした、神様の敵の言うことを聞いてしまいます。そのことで、人間は完璧だった神様との関係を失うことになりました。また人間同士お互いを避け、口論や喧嘩を始めました。それにより人間は自らの過ちにより、神様との深い関係にいる特権を失ってしまったのです。

⇒ 神様は人間の選択を悲しまれましたが、それでも人間を愛することを決してやめませんでした。神は人間への愛を持ち続けました。しかし、神聖であり完璧であられる神は、罪を犯した人間とともにおられることはできませんでした。

⇒ この世は、破壊と邪悪から救ってくれ、神様との関係を完全に修復してくれる誰かを必要としていました。そして神は、ひとり子であるイエスによって、人間を救済する計画をもたれました。イエスは、救い主であり、人間と神の関係を修復し、強固にさせる方なのです。イエスは、神様と人間の間をとりもち、他の人ではどうていけない役目をやりとげられたのです。

### ・ どのように、神の子イエスは救い主となるのでしょうか？

神は人間を愛するが故、ひとり子イエスを処女より人間として生まれるようにし、世に送られました。イエスは罪を犯すことなく生き、そして、人間の神に対する不服従の代償として十字架にかけられ死なれました。イエスの使命は、神を信じまた神との関係を修復したいと願う人を救い、またそう願う人を永遠の死から、そして神との分離から救うというものだったのです。イエスは人類のための神の救済そのものでした。救世主は罪から人々を救い、神との関係をもとにもどす力をもっておられました。

## 2. 赤ん坊のイエスは、私たちと同じです。

イエスの誕生は、神様が私たち人類に送ってくださった、もっとも希望に満ちあふれた知らせでした。これまでは、イエスの誕生は普通の人間の誕生とどう違うのか？ということをお話してきました。しかしイエスの誕生は、奇跡と普通が一緒になっているのです。では何がイエスの誕生において“普通”なのでしょう？

a. 聖書には、イエスは「布にくるまれて、飼い葉桶に寝ていた」とあります。

b. 人々にとっての素晴らしいニュースは、一人の赤ちゃんの誕生によってもたらされましたが、その赤ちゃんは、平凡で、神を信じている両親のもとで生まれ、ありふれた布にくるまれ、質素なところ（動物の餌を入れておく飼葉おけ）で寝ていたのです。マリアはベビーベッドをもっていませんでしたが、周りにある物で代用したのです。イエスはきわめて質素な環境で生まれ、両親は平凡で勤勉な人達でした。

c. マリアの懐妊は奇跡でしたが、イエスの誕生は、普通の母親のそれと異なるものではないのです。それどころか、マリアが産気づいたときには地元におらず、家族が周りにいたわけでもなかった、と聖書にはかかれています。妊娠9カ月の時には、ろばにのって他の町へいかなくてもなりません。とても疲れていて、不安だったでしょう。町についたときには、どの宿にも空きはありませんでした。宿の主人に馬小屋なら空いていると言われます。あなたもその馬小屋に行くことを想像してみてください。母親、助産師、姉妹はいません。そこは病院ではないし、はたして清潔だろうか心配だったでしょう。周りには動物たちもいます。マリアが自分の家から遠いところで出産することに不安を感じるのは、よく理解できるのではないのでしょうか？私は帰化していて、自分の国から遠いところで出産しました。私が思うに、マリアは不安で怖かったに違いなく、でも喜びも感じながら赤ん坊のイエスを愛したことでしょう。

d. 誕生の喜びは、たくさんの家族、友人に広がっていきます。長女が生まれたとき、私たちは家族や友人を招き、家で会ってもらいました。次女、三女の時も同じようにしました。そして中国から息子のレビを迎え入れ養子にしたときは、ゲストにクッキーをふるまい、レビを抱っこしてもらいました。似たような形で、神様は羊飼達と博士達を招き、赤ん坊のイエスを見てもらいました。神様は、貧しいものと富めるもの、動物と天使、男と女、外国人である賢者達と住人である羊飼達を招きました。イエスはすべての人を歓迎するのですから、イエスの誕生は誰にでも知らされました。

クリスチャンがクリスマスをお祝いするとき、いつも心に思う揺るがない真実は次の通りです：

1. クリスマスの出来事を通して、神様がいつでもすべての人々を愛していることがわかります。
2. イエスの誕生を通して、神様が私たち人間と、再び素晴らしい、結びあわされた関係を築くために、そこへ向かうための道をつくる計画を立てられました。その計画とは、イエスがこの地上で生きるため、そして十字架で死ぬため、そして復活されるため、そのために生まれてくる、という計画です。だから、神様を信じる人はみな、天国で神様とともに生きる永遠の命を得ることができるのです。
3. クリスマスの一通りの詳細は、すべての人々に向けた素晴らしいご計画の一部であり、国籍、人種、経済的状況や職業は関係ありません。すべての人々は神の子イエスを受け入れるよう招かれています。イエスは人々を永遠に神と結びつけるために、生まれてきたのです。

4. 神様は、イエスの誕生を非常に注意深く、やさしさと愛をもって計画されました。喜びをもって、人間、天使、そして星とともに。博士からの贈り物と馬小屋の動物たちとともに。しかし、神様はイエスが生まれた最初のクリスマスに示されたのと同じ思いを、私たち一人ひとりに示されています。神様は、すべての人がイエスに向き、救いをうけとることができるように、いまも手を差し伸べられているのです。

喜びにあふれたクリスマスの話を皆さんにお話しすることができ、うれしく思います。ありがとうございました。2020年のこの時期に、私の家族からあなたのご家族に、そしてフレンドシップインターナショナルからあなたの友人とそこにご家族に、このご挨拶を送ります。どうぞよいクリスマスをお過ごしください、そしてよい新年をお迎えください。